



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月2日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR室長 (氏名) 高武 彰

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	426,425	2.3	7,949	30.5	8,605	31.4	6,058	28.0
2018年3月期第2四半期	416,637	4.5	11,434	8.8	12,552	5.0	8,418	11.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 7,169百万円 (4.0%) 2018年3月期第2四半期 7,468百万円 (114.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	20.49	20.48
2018年3月期第2四半期	28.33	28.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	394,954	222,262	56.0
2018年3月期	376,204	219,861	58.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 220,996百万円 2018年3月期 218,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		17.00	17.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	2.2	20,000	7.2	21,000	14.0	14,000	11.3	47.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	297,355,059 株	2018年3月期	297,355,059 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,565,713 株	2018年3月期	1,838,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	295,691,416 株	2018年3月期2Q	297,120,146 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料・四半期決算説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

当社は、2018年11月13日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外では米中間の貿易摩擦の長期化が世界経済に及ぼす影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、原材料を含めた生産コストの上昇及び物流コストの高止まりが続く中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、「フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとして掲げ、チャレンジ精神を持って「中期経営計画2020」に掲げた施策等に取り組んでおります。また、本計画の最終年度の2021年3月期には、売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成すべく、グループ一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて97億87百万円増加して4,264億25百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて34億85百万円減少し、79億49百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて39億46百万円減少し、86億5百万円（前年同四半期比31.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて23億59百万円減少し、60億58百万円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークビッツ」「原形ベーコンシリーズ」等の主力商品は総じて堅調に推移しましたが、業務用商品の伸び悩み等もあり、売上高は減少しました。

調理加工食品については、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、「ラ・ピッツァシリーズ」などのピザ・スナック類や「サラダチキン」などのチキン商品が好調に推移しました。また、ハンバーグ・ミートボール類やトンカツなどのフライ商品に加え、「レンジでごちそうシリーズ」などの簡便調理をアピールした商品の拡販に努め、販売数量を伸ばした結果、売上高は増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は、前年同四半期に比べて24億32百万円増加し、1,425億62百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は、生産及び物流コストの上昇分を販売価格に転嫁しきれなかったことから、前年同四半期に比べて22億54百万円減少し、36億45百万円（前年同四半期比38.2%減）となりました。

<食肉事業>

国内事業については、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めて売上高は増加しました。牛肉は、米国産チルドビーフが好調を持続する中、豪州産も堅調に推移したことに加え、国産牛肉が販売数量を伸ばしたことから、売上高は増加しました。豚肉は、カナダ産チルドポーク「麦の誉」などのオリジナルブランドの拡販等に取り組んだものの、国産豚肉の相場下落の影響を受けて、売上高は減少しました。鶏肉は、「大地のハーブ鶏」の積極展開等に努めましたが、前年の相場高の反動を受けた販売単価下落等の影響により、売上高は減少しました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、売上高は増加したものの、調達コストの上昇等の影響を受けて、収益面では苦しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は、前年同四半期に比べて73億56百万円増加し、2,817億79百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は、前年同四半期に比べて11億86百万円減少し、47億15百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて187億49百万円増加し、3,949億54百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有形固定資産の増加等と現金及び預金の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて163億49百万円増加し、1,726億92百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等と長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて24億円増加し、2,222億62百万円となりました。これは主に、利益剰余金とその他の有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて91億40百万円減少(前年同四半期は268億66百万円減少)し、201億43百万円となりました。

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により資金は93億60百万円減少(前年同四半期は103億12百万円減少)しました。主な減少要因は、売上債権の増加、たな卸資産の増加によるものであり、主な増加要因は、仕入債務の増加によるものであります。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により資金は60億37百万円減少(前年同四半期は58億80百万円減少)しました。主な減少要因は、設備更新等の有形固定資産の取得による支出であり、主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入であります。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により資金は50億13百万円増加(前年同四半期は102億24百万円減少)しました。主な増加要因は、短期借入金の増加によるものであり、主な減少要因は、長期借入金の返済、配当金の支払による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年9月18日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,585	20,445
受取手形及び売掛金	94,056	102,742
商品及び製品	66,042	74,619
仕掛品	1,739	1,787
原材料及び貯蔵品	18,491	22,738
その他	3,557	6,051
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	213,465	228,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,053	34,907
機械装置及び運搬具（純額）	25,041	28,125
工具、器具及び備品（純額）	1,328	1,485
土地	25,901	25,465
リース資産（純額）	1,539	1,594
その他（純額）	2,870	3,467
有形固定資産合計	89,735	95,046
無形固定資産		
のれん	24,109	23,334
その他	1,706	1,576
無形固定資産合計	25,816	24,911
投資その他の資産		
投資有価証券	31,618	31,127
退職給付に係る資産	8,231	8,600
その他	7,458	7,013
貸倒引当金	△122	△121
投資その他の資産合計	47,186	46,619
固定資産合計	162,738	166,577
資産合計	376,204	394,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,944	72,058
電子記録債務	1,637	1,769
短期借入金	21,395	36,207
1年内返済予定の長期借入金	4,964	1,516
未払法人税等	2,502	1,516
賞与引当金	5,985	3,800
役員賞与引当金	187	80
その他	27,147	29,766
流動負債合計	127,765	146,716
固定負債		
長期借入金	20,071	16,875
退職給付に係る負債	1,581	1,608
資産除去債務	1,207	1,208
その他	5,716	6,282
固定負債合計	28,577	25,975
負債合計	156,343	172,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,289	96,301
利益剰余金	90,031	91,072
自己株式	△1,824	△1,553
株主資本合計	214,499	215,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,013	7,126
繰延ヘッジ損益	△789	△1,147
為替換算調整勘定	△2,387	△2,061
退職給付に係る調整累計額	1,277	1,254
その他の包括利益累計額合計	4,113	5,172
新株予約権	257	139
非支配株主持分	990	1,125
純資産合計	219,861	222,262
負債純資産合計	376,204	394,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	416,637	426,425
売上原価	351,529	363,425
売上総利益	65,108	63,000
販売費及び一般管理費	53,674	55,050
営業利益	11,434	7,949
営業外収益		
受取利息	46	48
受取配当金	140	128
受取賃貸料	197	212
持分法による投資利益	907	207
その他	392	634
営業外収益合計	1,685	1,231
営業外費用		
支払利息	473	496
不動産賃貸費用	65	67
その他	28	10
営業外費用合計	567	574
経常利益	12,552	8,605
特別利益		
投資有価証券売却益	294	518
保険料収入	—	213
段階取得に係る差益	—	288
その他	71	2
特別利益合計	366	1,023
特別損失		
固定資産除却損	87	141
投資有価証券評価損	36	13
災害による損失	—	269
その他	38	2
特別損失合計	162	427
税金等調整前四半期純利益	12,756	9,201
法人税、住民税及び事業税	3,192	2,522
法人税等調整額	1,066	572
法人税等合計	4,258	3,095
四半期純利益	8,497	6,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,418	6,058

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	8,497	6,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	1,198
繰延ヘッジ損益	132	△358
為替換算調整勘定	△251	△104
退職給付に係る調整額	△38	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,087	350
その他の包括利益合計	△1,028	1,063
四半期包括利益	7,468	7,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,357	7,117
非支配株主に係る四半期包括利益	111	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,756	9,201
減価償却費	4,258	4,545
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,323	△2,184
のれん償却額	759	1,051
受取利息及び受取配当金	△187	△177
支払利息	473	496
保険金収入	△75	△308
災害による損失	—	269
持分法による投資損益(△は益)	△907	△207
段階取得に係る差益	—	△288
投資有価証券売却損益(△は益)	△294	△518
売上債権の増減額(△は増加)	△21,443	△9,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,611	△14,553
仕入債務の増減額(△は減少)	7,649	8,660
未払金の増減額(△は減少)	2,862	△1,237
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	△19
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△686	△369
その他	361	△1,937
小計	△5,383	△6,918
利息及び配当金の受取額	843	2,411
保険金の受取額	75	300
利息の支払額	△493	△496
災害損失の支払額	—	△3
法人税等の支払額	△5,355	△4,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,312	△9,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,131	△6,655
無形固定資産の取得による支出	△259	△152
投資有価証券の取得による支出	△1,560	△33
投資有価証券の売却及び償還による収入	886	686
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△71
貸付けによる支出	△174	△119
貸付金の回収による収入	217	158
その他	140	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,880	△6,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,238	16,953
長期借入れによる収入	50	450
長期借入金の返済による支出	△694	△6,873
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△1,483	△0
配当金の支払額	△5,048	△5,015
その他	△286	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,224	5,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△448	1,244
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,866	△9,140
現金及び現金同等物の期首残高	52,785	29,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,919	20,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	140,129	274,422	414,552	2,085	416,637	—	416,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,914	14,466	16,381	10,549	26,931	△26,931	—
計	142,044	288,889	430,933	12,635	443,569	△26,931	416,637
セグメント利益	5,900	5,902	11,802	253	12,055	△621	11,434

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△694百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	142,562	281,779	424,341	2,083	426,425	—	426,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,722	13,430	15,153	11,260	26,413	△26,413	—
計	144,284	295,209	439,494	13,344	452,839	△26,413	426,425
セグメント利益	3,645	4,715	8,361	91	8,452	△503	7,949

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△694百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。